挑戦都市
やってみなはれ!
大阪プラン

The Osaka Chamber of Commerce and Industry
大阪商工会議所

OSAKA,KANSAI,JAPAN EXPO 2025

記 者 配 布 資 料
２０２４年７月１９日

大阪経済記者クラブ会員各位

「いのち輝く未来社会」を実現するジェンダード・イノベーション ～女性医師活躍を支える医療機器の共創カンファレンス～を開催！

ジェンダード・イノベーションによる新たなビジネスチャンスの創出

〔お問合せ〕大阪商工会議所　産業部（竹中、松山）
ＴＥＬ：06-6944-6484、070-7817-3108

大阪商工会議所は、**2025 年大阪・関西万博に向けて「『いのち輝く未来社会』を実現するジェンダード・イノベーション～女性医師活躍を支える医療機器の共創カンファレンス～」**を 9 月 30 日（月）に開催する。**あらゆる業界において「ダイバーシティ＆インクルージョン※1」が重視**されているが、医療現場においては特にジェンダーダイバーシティに遅れが見られている。本カンファレンスを契機として、**「ジェンダード・イノベーション※2」の視点から女性医師の活躍を支える新たな医療機器開発に取り組む。**大阪商工会議所は、「ジェンダード・イノベーション」という新たな視点のものづくりを通じてビジネスチャンスの創出を進め、女性医師が活躍する社会の実現に貢献する。

（※1）年齢や性別、国籍、学歴、特性、趣味嗜好、宗教などにとらわれない多種多様な人材が、お互いに認め合い、自らの能力を最大限発揮し活躍できること

（※2）科学・技術分野における研究や開発のプロセスに、積極的に性差分析を組み込んでいくことで、イノベーションと発見を実現する概念

○医療従事者不足といった課題は、ここ数年で特に顕著となっているほか、超高齢化による医療需要は今後さらに拡大が見込まれる。日本の医師数における女性医師の割合は世界的に少なく、女性医師の活躍がなければ、医療需要への対応と医療従事者の働き方改革の両立は難しい。

○一方、女性活躍の推進に向けて、研究・開発のプロセスに性別の差を組み込んだ「ジェンダード・イノベーション」に注目が集まっており、実際に女性医師にとって使いやすい機器開発を進める。

○本カンファレンスでは、男女共同参画を推進する世界的な医療機器業界のリーディングカンパニーである日本メドトロニック㈱がダイバーシティ＆インクルージョンの取り組みについて講演するほか、ジェンダード・イノベーションの第一人者である横浜国立大学の佐々木成江氏による課題提起、女性医師活躍推進に取り組む女性医師を交えたパネルディスカッションを実施する。

○共同開発提案セッションにおいては、女性医師目線で医療提供時の身体的負担を軽減する具体的な医療機器や周辺機器のニーズを発表し、企業との共同開発に向けたマッチングを行う。実際に医療現場では、手術機器が大きすぎることによる持ちにくさや、操作に相当な力が必要といった課題が山積している。

○本カンファレンスは、大阪商工会議所が 2003 年に全国に先駆けて立ち上げた医療機器開発支援プラットフォーム事業「次世代医療システム産業化フォーラム（MDF）」における「医工連携マッチング例会」の一環として開催する。同フォーラムでは、これまでに 72 件の医療機器等開発案件を事業化。また、女性の力で地域経済の活性化への貢献に取り組む大阪商工会議所女性会とも連携する。

※MDF HP：https://www.osaka.cci.or.jp/mdf/

＜開催概要＞

■日　　時　2024 年 9 月 30 日（月）13:30～17:15（予定）
■場　　所　大阪商工会議所 7 階 国際会議ホール（大阪市中央区本町橋 2-8）
■主　　催　大阪商工会議所
■協　　力　大阪商工会議所 女性会
■プログラム（予定）

・開会挨拶・モデレーター
日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケアプロジェクト プログラムディレクター
妙中 義之 氏

・基調講演「インクルージョン・ダイバーシティ・エクイティ（ID&E）の取り組み」
日本メドトロニック㈱ サージカル ヴァイスプレジデント
熊野 恵造 氏

・課題提起「ジェンダード・イノベーションが拓く未来」
横浜国立大学 客員教授・学長特任補佐（ジェンダード・イノベーション担当）
佐々木 成江 氏

・パネルディスカッション
ファシリテーター：
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 教授・部長/
病院長補佐（女性支援・ダイバーシティ）
中島 和江 氏
パネリスト：
大阪医科薬科大学 一般・消化器外科 助教／消化器外科女性医師活躍を応援する会 会長
河野 恵美子 氏
日本メドトロニック㈱　熊野 恵造 氏
横浜国立大学　佐々木 成江 氏

・共同開発提案セッション
女性医師目線で医療提供時の身体的負担を軽減する医療機器や周辺機器ニーズ発表 3 件程度（調整中）

・閉会挨拶
大阪商工会議所 女性会 会長　久保田 光恵 氏

■参 加 費　無料
■申　　込　9 月 25 日（水）までに以下 HP 内の申込フォームからお申し込みください。
https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202407/D23240710010.html

（参考）次世代医療システム産業化フォーラム（MDF）について

■全国の医師、研究者、企業が参加する全国最大規模の医療機器開発支援プラットフォーム。
■医療現場のニーズ発掘から製品のコンセプトづくり、試作品開発、薬事対応、製造・販売まで、医療機器開発のあらゆるステージを対象とした事業を展開。
■医療機器の開発、事業化に至るプロセスにおける様々な課題解決を支援。
■社会課題に連動した医療ニーズにも注目し、多様な企業の新事業開拓を推進。
■医療機器開発支援の国内ネットワークを生かし、海外とのグローバルネットワークを構築。

以　上

＜添付資料＞「いのち輝く未来社会」を実現するジェンダード・イノベーション　案内チラシ

MDF
Medical Device Industry Forum

<次世代医療システム産業化フォーラム2024第4回例会>

◆2025年大阪・関西万博を契機とした持続可能な未来社会を目指して◆

「いのち輝く未来社会」を実現するジェンダード・イノベーション

～女性医師活躍を支える医療機器の共創カンファレンス～

ダイバーシティ＆インクルージョン（※1）

持続可能な未来社会の実現にはダイバーシティ＆インクルージョンの実現が不可欠。
様々な社会ニーズに応えるためには多様な人材による価値創造が求められる。

ジェンダード・イノベーション（※2）

性別や交差性に基づくニーズ分析により、従来の市場では見逃されていた新たな顧客層や市場を発見。
ジェンダード・イノベーションのアプローチにより新たなビジネスチャンスを創出。

医療現場における課題解決

日本の医師数における女性医師の割合は世界的に少ない。
女性活躍において課題が多く残っている医療現場において他分野への展開も見据えた課題解決に取り組む。

(※1)年齢や性別、国籍、学歴、特性、趣味嗜好、宗教などにとらわれない多種多様な人材が、お互いに認め合い、自らの能力を最大限発揮し活躍できること

(※2)科学・技術分野における研究や開発のプロセスに、積極的に性差分析を組み込んでいくことで、イノベーションと発見を実現する概念

あらゆる業界で重視されている「ダイバーシティ&インクルージョン」。日本の医師数における女性医師の割合は世界的に少なく、特にジェンダーダイバーシティに遅れが見られています。一方、女性活躍の推進において、研究・開発のプロセスに性別の差を組み込んだ「ジェンダード・イノベーション」のアプローチが有効であり、新たな視点のものづくりによるビジネスチャンス創出の可能性を秘めています。本カンファレンスでは、持続可能な未来社会に向けた議論を展開するとともに、「ジェンダード・イノベーション」のアプローチを通じて、女性医師の活躍を支える医療機器等の開発に取り組んでまいります。

2024年
9月30日（月）
13：30–17：15

大阪商工会議所
7階　国際会議ホール

参加費無料

申込みはこちら☞

主催：大阪商工会議所　協力：大阪商工会議所 女性会

プログラム（予定）

開会挨拶・モデレーター

妙中 義之 氏

次世代医療システム産業化フォーラム 座長/
国立循環器病研究センター 名誉所員/
AMED 医療機器・ヘルスケアプロジェクト
プログラムディレクター

1976年大阪大学医学部卒業後、大阪大学医学部附属病院勤務、複数の病院勤務を経て1980年より国立循環器病センター研究所人工臓器部で人工心臓、補助循環の研究を開始。その後、同センター人工臓器部部長、研究所副所長、研究開発基盤センター長を歴任。2015年AMED医工連携イノベーション推進事業のプログラムスーパーバイザー、2020年にAMED医療機器・ヘルスケアプロジェクトのプログラムディレクターに就任。

基調講演「インクルージョン・ダイバーシティ・エクイティ（ID&E）の取り組み」

熊野 恵造 氏

日本メドトロニック株式会社
サージカル ヴァイスプレジデント

1993年にセンチュリーメディカル株式会社のUSサージカル部門に入社し、内視鏡外科製品の営業担当者としてキャリアを開始。以後、USサージカルがコヴィディエンジャパン株式会社に発展する中、営業チームのマネジメントやマーケティング、事業部門長を歴任。現在は日本メドトロニック株式会社のヴァイスプレジデントとして外科事業全体を率いると共に、日本のメドトロニックグループでの、Medtronic Women's Networkを含むInclusion, Diversity & Equityの取組の推進を担う。

課題提起「ジェンダード・イノベーションが拓く未来」

佐々木 成江 氏

横浜国立大学 客員教授・学長特任補佐
（ジェンダード・イノベーション担当）/
東京大学 特任准教授

1995年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。98年同大学院博士課程修了。博士（理学）。お茶の水女子大学にて特任講師を経て、07年に名古屋大学男女共同参画室特任准教授。10年に同大学大学院理学研究科生命理学専攻准教授。19年に、クロスアポイントメントにてお茶の水女子大学准教授および学長補佐を兼務し、ジェンダード・イノベーション研究所の設立に関わる。22年に新設されたお茶の水女子大学ジェンダード・イノベーション研究所の特任教授。24年より現職。内閣府男女共同参画会議計画実行・監視専門調査会委員。

パネルディスカッション

【ファシリテーター】

中島 和江 氏

次世代医療システム産業化フォーラム
アドバイザリー/大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部 教授・部長/
病院長補佐（女性支援・ダイバーシティ）/
大阪大学総長補佐

神戸女子薬科大学、大阪大学医学部、フルブライト奨学生としてハーバード公衆衛生大学院修士課程卒業。大阪大学医学部附属病院第二内科、市立豊中病院内科、ハーバードリスクマネジメントファンデーション損失予防部、大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部教授・部長、2018年4月より病院長補佐。2020年4月より独立行政法人労働者健康安全機構理事、大阪大学医学部招聘教授。2022年4月より大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部教授・部長、病院長補佐(女性支援・ダイバーシティ担当)。2023年4月より大阪大学総長補佐。

【パネリスト】

河野 恵美子 氏

大阪医科薬科大学 一般・消化器外科 助教/
消化器外科女性医師活躍を応援する会 会長

2001年に宮崎大学を卒業。複数の医療機関で勤務した後、1年3カ月の専業主婦を経て2007年に大阪厚生年金病院に入職。2016年より高槻赤十字病院で3年間勤務し、2019年に大阪医科薬科大学 一般・消化器外科に入職。2015年に消化器外科の女性医師を支援する団体「AEGIS-Women」を設立。2020年に内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ賞」、2024年にAEGIS-Women会長として内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ支援賞」受賞。

熊野 恵造 氏

佐々木 成江 氏

共同開発提案セッション

女性医師目線で医療提供時の身体的負担を軽減する医療機器や周辺機器ニーズ発表3件程度（調整中）

閉会挨拶

久保田 光恵 氏

大阪商工会議所 女性会 会長/
株式会社アークティック 代表取締役

問合せ
大阪商工会議所
産業部 ライフサイエンス振興担当
06-6944-6484　bio@osaka.cci.or.jp

主催：大阪商工会議所　協力：大阪商工会議所 女性会